



研究会の様子

第4回研究会を10月27日（土）に米子で行いました。

まず、かたの生涯のストーリーを画像に従って確認し、20分で筋道を理解していただいた。

- ① 「米子ゆかりのジャーナリストの先駆 碧川企救男」というネットの中で2017年8月から掲示されている文を基本資料として用いた。途中養父堀正のこと、企救男の懸賞小説「厭妻治療法」、乙号社会主義者名簿のことも触れる。
- ② 天神町の碧川家について、ガイドをしているK氏は観光客にレンガのこと、企救男・かたのことを説明しているという。

現在すぐ近くに住んでいるZさんはこの話は知らなかったという。学芸員Yさんは、平成24年に展示をした時は県博やたつの霞城館から借用した。一家がクリスチャンで、米子で初めて、今は安倍にある聖ニコラス教会の草創期であったと話す。

- ③ 『赤とんぼの母』河越太郎著のものを40年前に読んだことがあるという方はその頃から関心をもっておられたのだ。
- ④ 西村家と碧川家の家系図は学芸員Yさんのものを追加作成したもののだが、西村家の子孫については情報はなかった。

この研究会の直前、境港のK氏から西村氏の墓が境港にあることの知らせがあった。又碧川本家の澄さんと元市長の野坂氏とは頻繁に交流があったことは興味深い。碧川は元新谷藩（現愛媛県大洲市）の国学者 碧川好尚よしひさの名が人名事典に載っている。明治になり検事の職で転勤して米子に住む。

米子の方々も企救男のことなど知られていない、それよりはやはりかたさんのこと（赤とんぼの母として）のほうが知られているようだ。

朝ドラの主人公に取り上げられるまでまた次回米子で開催することを約束して、なごやかなうちに閉会した。

パネル資料展を各地で行います

前号で因幡万葉歴史館展示のアンケートについて記事を書きましたが、要望に応えるべく、展示のためのパネルを作成し準備しました。そのための資金はトットリズムに申請して、採択され、実現することになったのです！

県内全域、高齢者入所施設、病院、図書館などで展示する予定で、内容は朝ドラ実現のための広報活動、展示で、研究会も平行して行っていきます。

この展示を見ることにより、先人の功績を知り、郷土に誇りが持てる、生きることの励ましになると信じます。外に出る機会の少ない高齢者の方、シングルマザーの方を勇気づけると思っています。うちの近くでもやってほしいと思われた方は気軽に声をかけてくださいれば有り難いです。入場料は勿論無料です。準備・撤収には出来る限り出かけていきます。各地域の方の素朴な会話・交流を楽しみにしています。

（四井幸子）



たつとの交流コーナー

たつのでは月に3回かたサークル（勉強会）開いていて、かたの出前講座も自治会、老人会、婦人会にしておられます。現在紙芝居制作中とか、楽しみです。市会議員の「かたの勉強会」も行われたそうです。

7月7日予定のトークが豪雨により中止になったため、河野浩美さんに2回の寄稿でミニトークをしていただくこととして、前号の続きです。

「私がかたに関わった経緯」(下)

今年になって、四井さんから「朝ドラの主人公にと運動が始まっている」と教えていただいた。そういうニュースはこちらには伝わっていなかったもので、驚いたが、考えてみるとドラマ化するのにふさわしい人物でもあると納得した。

この報をきっかけに私のかた調べが再開した。ところが、調べれば調べるほどわからないことが出てくる。まず生まれた年、堀家に養女にいった年、などなど不明なものばかりで、かたの年表を作ってみると疑問符がつく項目が並んでしまう。これから新たに資料が発見されたら、かたの正確な年譜も出来るかもしれない。今回も養父堀正の略歴が『元九郎奔る』（堀正の曾孫の大原啓輔氏著）というご本の中で明らかになった。今まで考えられていた年と違うところがたくさんあるのだ。その点などを鳥取の方々と討論しながら詰めていきたいと思っていたのだが、残念なことに豪雨で中止となってしまった。

「碧川かた」という女性は、こちら関東では全くと言っていいほど今も知られてい

ないと思う。鳥取に顕彰碑が完成したニュースですら、こちらには伝わってこない。だから、かたの一生がNHKでドラマ化されるようになれば、全国的にその名を知られるようになるだろう。

かたは当時の女性にしては新しい生き方をした人だ。離婚をバネに自立を目指して看護婦になり、再婚後は禁酒運動や婦人参政運動に邁進している。住んだ場所も日本各地に及んでいる。かたに関係する人も詩人の露風、新聞記者として活躍した碧川企救男、そしてカメラマンの道夫、映画監督の内田吐夢、と個性豊かな人々ばかりだ。

こちらにいては皆さんのお力にはなれないが、私なりのやり方で碧川かたという一人の女性の生き方が少しでも多くの人々に知られるように動いてみたいと思っている。

千葉県在住 河野浩美

終り



湯梨浜を案内してくださった中嶋二三雄

さん(左)と河野さん 7月6日

★次の研究会は「かた」ゆかりの湯梨浜町で行います。県中部では初めてです。

「場所」湯梨浜町立図書館本館

湯梨浜町龍島497

「日時」12月9日(日)

午後1時半〜3時半

声をかけ合ってどなたでもおいでください。

「1月からのイベント」

★碧川かた手作り資料 巡回展

大小30枚のパネルを展示します。車椅子の方でも見れる位置にします。できる限り大きな文字にしました。

湯梨浜町の図書館本館・アロハホール・泊分館の3施設で初めての取り組みです。詳しくは次号でお知らせします。

★「響かせようトットリズム♪とっとり元気フェス2019」に初参加

「場所」米子市淀江文化センター

「日時」3月2日(土)

午前11時〜午後3時半

トットリズムで活動している団体のPRブースがあり、地域づくりの講演や分科会があります。碧川かた研究会もブース出展しますのでどうぞおいでください。